

松鶴建設(株)・安全協力会「第27回安全大会」開く インフラを構築“まちに鼓動を”与え、無事故・無災害を誓う



社員や協力会員らが出席し、無事故・無災害の誓いを新たにした「第27回安全大会」

松鶴建設(株) (川田和人社長)と松鶴建設(株)安全協力会 (遠藤幸基会長)の「第27回安全大会」は12日、福岡市のANAクラウンプラザホテル福岡で開催した。大会には同社社員や協力会員ら多数が出席し、社長表彰・会長表彰などの安全表彰や特別講演、安全スローガン唱和と安全宣言などを行い、安全・安心で明るく快適な職場づくりと無事故・無災害の達成を誓い合った。

大会は、安全協力会副会長の山口幹雄氏 (株キューボウ)の開会あいさつに続いて、物故者に黙祷を捧げた。冒頭の挨拶で、松鶴建設(株)の川田和人社長は「当社は中期目標として施工高100億円という大きな目標を掲げ、社員や協力会の高い技術力と確かな現場力に支えられ、目標を達成できました。心より感謝申し上げます。当社は、協力会の皆様とのさらなる連携強化が今後の成長に不可欠であり、3年後には現在66社の会員企業を80社体制へと拡大したいと考えております。また、組織が拡大していく中、全員が同じ方向を向いて進む必要があります。コーポレートメッセージを策定致しました。“まちに鼓動を”このメッセージは、社内でプロジェクトチームを立ち上げ、約1年をかけて真剣に意見を交わし作り上げました」と述べ、会場でイメージ動画が放映された。「私たち



主催者挨拶の川田社長

は人々の暮らしを支える公共インフラを構築し、その先に新しい生活や地域の発展を創り出していく事が、仕事の本質であり、“まちに鼓動を”与えることだと考えています。今年度の安全スローガンは“見る目 気づく目 予知する目 一歩先読む安全意識”です。これは誰か一人だけで安全を守るのではなく、現場にいる全員が互いを見守り、声を掛け合い、危険を予知し、安全な行動につなげていこうという想いを込めています。どうか安全に対しては絶対に妥協せず、無事故・無災害の現場づくりに取り組んでいただくことをお願いいたします」と挨拶した。

また、安全協会の遠藤幸基会長（遠藤土木㈱）は「私たち建設業は、社会インフラをつくる誇り高い仕事である一方、一瞬の気の緩みが命に関わるリスクの高い仕事でもあります。安全は言葉だけではなく、現場での行動によって守らなければなりません。労働災害は減少傾向とは言え、決してゼロではありません。1件の事故は単なる数字ではなく、仲間の人生そのものです。今日は、皆さんに3つの約束をお願い致します。①基本動作の徹底、②声掛けと報告、③無理をしない勇気、安全は誰か一人が守るものではなく、ここにいる全員で守るものです。工期や品質も大切ですが、その前提にあるのは、全員が無事に家へ帰ることです」と安全と健康第一を訴えた。



大会挨拶の遠藤会長

安全表彰では、社長表彰の①協力会社2社、②安全衛生責任者1人、協会会長表彰の①協力会社1社、②安全衛生責任者2人、③作業所安全2作業所が優秀賞を受賞。「スローガン表彰」の衛生・品質・環境部門で3人が表彰を受けた。

休憩の後、熊本県初代危機管理防災企画監（熊本県防災軍師）の有浦隆さんが「熊本地震などから学ぶ防災対策」と題して講話。熊本地震を経験された立場から安全・防災は命の為でもあるが、未来や子孫の為でもあると安全対策の重要性を訴えた。引き続き、松鶴建設㈱の新入社員の紹介が行われ、「安全スローガンの唱和」（松鶴建設㈱の小曾根瞬氏と内田空斗氏）、「安全宣言」（㈱総合カッターの松島孝格氏）、「閉会の辞」（㈱原通信建設の原雅彦氏）などがあり、労働災害の撲滅に向けての誓いを新たにしました。



社長・協会会長の安全表彰式



講演講師の有浦氏



安全スローガンの唱和

【安全表彰及びスローガン表彰】（敬称略）

- 「社長表彰」①協力会社優秀賞＝ユージーエンジニアリング㈱、㈱海洋技術サービス、
- ②安全衛生責任者優秀賞＝宮園教幸（㈱花山組）

- 「会長表彰」①協力会社優秀賞＝(株)総合カッター、②安全衛生責任者優秀賞＝檜崎賢三(遠藤土木(株))、浦谷申一(株)浦谷)、③作業所優秀賞＝片野新町作業所、筒井作業所
- 「スローガン表彰」①安全スローガン＝矢野善証(株)キューボウ)、②衛生スローガン＝柴田美穂(松鶴建設(株))、③品質スローガン＝芳陵渉(松鶴建設(株))、④環境スローガン＝村川未央(松鶴建設(株))